

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正五年十一月二十八日印刷納本（毎月一回一日發行）

哲學研究

第壹卷 第九册

第九號

大正五年十二月一日發行

社會學的認識論……………米田庄太郎

女子の使命に就いて……………文學士 野田義夫

自覺に於ける直觀と反省……………文學博士 西田幾多郎

藝術的活動の本質……………文學士 中川得立

彙報……………

新著紹介……………

京都帝國大學文學科大學內
京都哲學會

京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年試圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士 西田幾多郎

文學博士 朝永三十郎

文學士 千葉胤成

文學博士 狩野直喜

文學博士 米田庄太郎

文學博士 高瀬武次郎

文學士 中川得立

文學士 植田壽藏

文學士 野上俊夫

文學博士 松本文三郎

文學士 深田武

文學博士 深田康算

文學博士 藤井健治郎

文學博士 小西重直

文學博士 寶嚴方治

書記

かくの如き例は決して尠少ではない。又本譯書は初學者に對する手引として西洋哲學史の一般的知識を與ふる爲に譯出せられた爲でもあらうが、プラト、カントの著述及シェリングの二三の著を擧げて居るのみで其他の哲學者の著述は一切省略してあるのは何だか物足らぬ。原書之如く英譯書其他研究に要する關係書目迄も列擧するの親切はなくとも、宛に角哲學史に一章を分け與へらる程の哲學者の著述の名位は擧げて欲しかつた。併しかく云へばとて、譯者の此大冊を翻譯するに當つて拂はれた努力と努力に對して、敬意を忘れやうとするものでは勿論ない。又本譯書が唯一の目的とする所のものを、高き程度に於て實現して居ると云ふ事を認むるに吝なるものでもない。近來此種の譯著の少からざる時に當つて、本書亦其有する特色を以て、多くの讀者を牽引するこゝとであらう。東京市京橋區南傳馬町二、日黒書店發行。定價二圓五拾錢、(岡野留次郎)

寄贈書籍雜誌

精神科學の基本問題 文學士 上野直照 岩波書店
 ワオードの社會學 アスタアオ 藤森達三譯 巖松堂書店
 西洋哲學史 フラレーンク シルリイ著 文學士 若守義孝譯 日黒書店
 哲學雜誌、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、第三帝國、早稻田文學、學校教育、内外教育評論、普通教育、小學研究、教育研究、教育界、奈良縣教育、滋賀縣教育會雜誌、愛知教育雜誌、新思潮都市教育、岐阜教育

前號目次

視覺に於ける右利左利 文學士 黒田源次
 基督教に於ける神の内存在觀 アスタアオ 日野眞澄
 白覺に於ける直觀と反省(承前) 文學博士 西田幾多郎
 フイヒテの宗教哲學の發展(完結) 文學博士 朝永三郎
 シャンカラの眞智に關する思想に就て 文學士 本田義英
 彙報—新著紹介

會 告

會費未納ノ會員諸君ハ本月十日迄ニ振替口座大坂
參〇六六參番京都哲學會宛ニテ御拂込被下度候也
尙右期日内ニ御拂込無之方ニ對シテハ本月廿四、五日頃
集金郵便ヲ差上可申候間制規ノ會費及ビ集金手數料ト
シテ金九錢御拂込被下度候

大正五年十二月

京 都 哲 學 會

定規文註

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は實文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)實文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

廣告料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

價定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金貳拾	錢	金壹	錢
六冊	(前金)	金壹圓貳拾	錢	不	申
十二冊	(前金)	金貳圓四拾	錢	不	申

告會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文科大學内
京都哲學會
振替口座大阪參〇六六參番

賣捌所

- (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、上田屋
- (大阪) 盛文館
- (京都) 實文館 (神戸) 實文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目

實文館

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番)

實文館



大正五年十一月二十八日印刷納本
大正五年十二月一日發 行

第九號 第壹卷
第九册

京都帝國大學文科大學内

編輯者 京都哲學會

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舎第一工場

哲學研究 第九號 第一卷 大正五年(每月一回) (大正五年四月六日) 定價金貳拾錢

本 合

纂編會學哲都京

究研學哲

者 筆 執

文學博士	西田幾太郎	文學博士	宇野圓空
文學博士	千葉胤成	文學博士	狩野直喜
文學博士	松本文三郎	文學博士	深田康算
文學博士	小西重直	文學士	錦田義富
文學士	中川得立		米田庄太郎
文學士	高田保馬	文學士	西晉一郎
文學士	田邊元	文學博士	左右田喜一郎
文學士	植田壽藏	文學士	安部晴之助
文學士	藤井健治郎	文學博士	朝永三十郎
文學士	梶崎淺太郎		

自第壹號
至第六號
合本

總布上製□定價金壹圓貳拾錢
全一冊□送料金拾貳錢

本誌は京都帝國大學文科大學哲學科機關雜誌にして、本邦に於て唯一の權威なるは今更喋々を要せざる所なり。今や前半期六冊を合本として普く同好の士に頒たんとす。本書が新學說を發表するに於て遺憾なく、其内容の卓越せるは、斯學の研究及普及の目的を遂ぐるとに於て其効果偉大なるものと信ず。一本の備付を薦む。

東京日本橋區本石町 寶文館 大阪市東區淡路町 (振替大阪四三番)